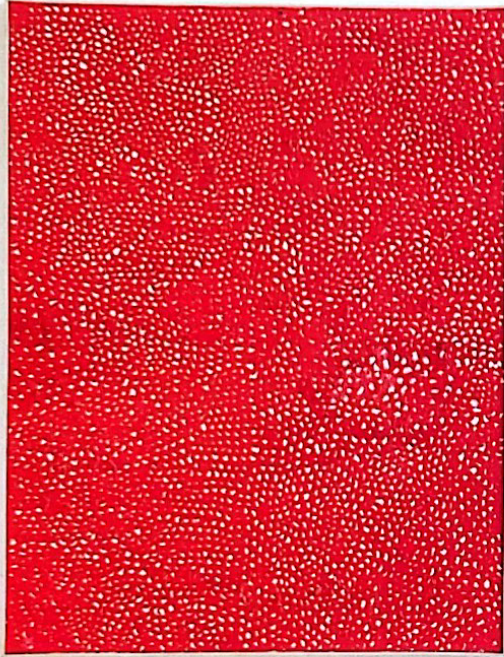


家具や洋服と同じ気持ちで、アートも

はじめてみませんか？

BRUTUS®

2024 7/1 特別定価 880円 No.1010



ひとつ飾ると毎日が変わる。だから、

小さなアートと暮らしたい。

Lorem ipsum

キム・ジョーンズがアートコレクションを大公開
俳優 中島セナがアート購入の基礎知識を学ぶ
アーティスト田名網敬一が今気になるアーティスト
写真家アリ・マルコポロスが絵を飾り替える理由

特別付録 24ページ

人気ギャラリーとショップが推薦！
今買うならば、このアート。

戸田沙也加の

《Tokyo Canna Project #1》

¥55,000~

2023年/デジタルタイプCプリント/21.0×29.7cm

東京の街中で写されたカンナの花に思いを馳せて。

美

しさと醜さという表裏一体にある世界観を描き出す稀代のペインターとして注目を集めてきた戸田沙也加ですが、3年前に当ギャラリーで初めて写真作品を発表。カンナの花をモチーフに起用していましたが、実はその花が、原爆投下直後の広島に咲き誇り「平和と希望」の象徴とされてきた植物であることをのちに知ることに。《Tokyo Canna Project》は、人々が往来する東京の風景の中に、カンナの花をそっとパフォーマンス的に配置して写された写真群。少し違和感のあるその姿に複雑な思いが交差します。(KANA KAWANISHI PHOTOGRAPHY/河西香奈)



DATA



KANA KAWANISHI PHOTOGRAPHY ●西麻布

東京都港区西麻布2-7-5 5F ☎03-5843-9128。13時~18時。日曜・月曜・火曜・祝日休。清澄白河に位置するKANA KAWANISHI GALLERYの写真を専門にするサテライトギャラリー。「普遍性」を一つのキーワードにアーティストを紹介。ここで紹介した戸田の作品はエディションあり。サイズのバリエーションによって価格は異なる。



©Sayaka Toda, courtesy KANA KAWANISHI GALLERY

ARTIST

051

戸田沙也加

とだ・さやか/1988年埼玉県生まれ。主に「醜美」をテーマに、自身の絵画作品の世界観を伝えるために、写真・映像・インスタレーションと、幅広い素材や手法を扱う。7月6日~8月3日、KANA KAWANISHI PHOTOGRAPHYで個展「Tokyo Canna Project」を開催。

松下和暉の

《When I said that, when I shit DATA》

1,500 USD ●USドルのみで販売

2018年/紙にマーカー/21×17cm

組み替えられた言葉と絵の間を行き来する面白さ。

右

の作品以外にも《Trans-Parent (STAP ran rent)》や《worth is no red, in other words》など、謎めいたフレーズやアナグラムが用いられたタイトル——時にそこから制作を始めることもある松下和暉の絵画では、紙やキャンバスなどの支持体が詩的表現の延長として活用されています。描かれたモチーフは言葉そのもののようでもあり、画面の余白は詩節のエッセンスをも呼び起こすよう。じっくり眺めると、言葉と絵画を親密に行き来する中に「読む・見る」ことの意味を反転させるユーモアが忍び込んでいるのを発見できて、面白いです。(KAYOKOYUKI/結城加代子)



DATA



photo/Mazaru Yanagiba

KAYOKOYUKI

●駒込

東京都豊島区駒込2-14-14 ☎03-6873-6306。12時~18時(日~17時)。月曜・火曜・祝日休。日常生活から得られる様々な素材やイメージを扱い、価値観の多様化や社会の分断が進む現代社会において共生するためのヒントとなるような、国内外の現代美術作家の作品を紹介。大田黒衣美や富田正宜ら近年注目されるアーティストが所属する。



Kazuki Matsushita, Courtesy of the artist and KAYOKOYUKI

ARTIST

052

松下和暉

まつした・かずき/1992年東京都生まれ。ノートに書き留めた言葉や文章、詩をモチーフにドローイングや絵画を制作。主な個展にドイツ・ケルンの展示スペースEC HOで開かれた「The Agentur」(2023年)など。KAYOKOYUKIで6月29日~7月28日に個展を開催。